

**【価格対策課業務】**

肉用牛経営及び養豚経営の安定対策のための価格差補てん事業の支援を通じ、畜産経営の安定を図るとともに、生産振興のため生産基盤の強化拡大に資する各種事業を実施しました。

1) 補助・助成事業

(1) 独立行政法人農畜産業振興機構補助事業

① 肉用子牛生産者補給金制度

契約肉用子牛1頭当りに必要な生産者積立金を生産者の負担金と県、独立行政法人農畜産業振興機構の助成により造成し、四半期毎の平均売買価格が肉用子牛の再生産を確保することを旨として設定された「保証基準価格」を下回った場合に生産者補給金を交付する事業を実施しました。

なお、第4四半期にその他肉専用種の発動があったが、当県では該当がなく補給金の交付はなかった。

a) 生産者補給金交付契約締結状況 (単位:戸)

契約区分	契 約 者 数				
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
個 人	25	26	28	27	25
農事組合法人	4	4	4	3	3
株 式 会 社	5	6	6	8	10
合 名 ・ 合 資	-	-	-	-	-
有 限 会 社	3	3	3	3	3
合 計	37	39	41	41	41

b) 事務委託契約締結状況 (単位:件)

委託先区分	委 託 契 約 数				
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
総 合 農 協	9	9	8	6	7
専 門 農 協	0	0	0	0	0
農 協 連	2	2	2	2	2
そ の 他	1	1	1	1	1
合 計	12	12	11	9	10

c) 契約肉用子牛個体登録頭数 (単位:頭)

品 種 区 分 期 間 区 分	黒毛和種	その他の 肉専用種	乳 用 種	交 雑 種	計
	令和2年1月~3月	357	0	0	427
令和2年4月~6月	324	0	0	424	748
令和2年7月~9月	382	0	0	434	816
令和2年10月~12月	386	0	0	428	814
合 計	1,449	0	0	1,713	3,162

d) 保証基準価格と合理化目標価格 (単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格
	令和2年1～12月	令和2年1～12月
黒毛和種	541,000	429,000
その他の肉専用種	320,000	253,000
乳用種	164,000	110,000
交雑種	274,000	216,000

e) 肉用子牛平均売買価格 (単位：円)

品種区分 期間区分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
令和2年1月～3月	718,900	243,900	249,100	425,400
令和2年4月～6月	620,700	-	238,200	340,500
令和2年7月～9月	654,800	-	241,000	332,000
令和2年10月～12月	740,100	-	256,400	369,700

f) 契約肉用子牛1頭当り生産者負担金 (単位：円)

品種区分	生産者積立金	
	令和2年1月～3月	令和2年4月～12月
黒毛和種	300	400
その他の肉専用種	3,100	4,700
乳用種	1,600	1,700
交雑種	600	800

g) 生産者積立金造成内訳 (令和2年1月～12月) (単位：頭、円)

品種区分	期間区分	個体登録頭数	1頭当り積立金単価	生産者積立金造成額	生産者積立金の負担区分		
					機構(1/2)	三重県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	1～3月	357	1,200	428,400	214,200	107,100	107,100
	4～12月	1,092	1,600	1,747,200	873,600	436,800	436,800
その他の肉専用種	1～3月	0	12,400	0	0	0	0
	4～12月	0	18,800	0	0	0	0
乳用種	1～3月	0	6,400	0	0	0	0
	4～12月	0	6,800	0	0	0	0
交雑種	1～3月	427	2,400	1,024,800	512,400	256,200	256,200
	4～12月	1,286	3,200	4,115,200	2,057,600	1,028,800	1,028,800
合計		3,162	-	7,315,600	3,657,800	1,828,900	1,828,900

h) 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況

(単位：円)

区 分		保証基準価格の品種区分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合 計		
(1) 期首残高	①	生産者積立金	0	0	0	0	0		
	②	生産者積立準備金	—	—	—	—	120,037,160		
	内 訳	③	生産者の負担金充当分	—	—	—	—	15,810,952	
		④	都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	88,224,108	
		⑤	機構の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	16,002,100	
(2) 生産者積立金積立実績	⑥	生産者積立金純増加額(⑨+⑫+⑮+⑱)	1,220,000	0	0	3,824,200	5,044,200		
	⑦	生産者積立準備金からの繰入額(⑩+⑬+⑯)	955,600	0	0	1,315,800	2,271,400		
	⑧	計	2,175,600	0	0	5,140,000	7,315,600		
	内 訳	生産者	⑨	負担金	132,200	0	0	1,254,200	1,386,400
			⑩	生産者積立準備金(③からの繰入額)	411,700	0	0	30,800	442,500
			⑪	小計	543,900	0	0	1,285,000	1,828,900
	内 訳	都道府県	⑫	生産者積立助成金	—	—	—	—	—
			⑬	生産者積立準備金(④からの繰入額)	543,900	0	0	1,285,000	1,828,900
			⑭	小計	543,900	0	0	1,285,000	1,828,900
	内 訳	機 構	⑮	生産者積立助成金	1,087,800	0	0	2,570,000	3,657,800
			⑯	生産者積立準備金(⑤からの繰入額)	—	—	—	—	—
			⑰	小計	1,087,800	0	0	2,570,000	3,657,800
	内 訳	そ の 他	⑱	生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産	—	—	—	—	—
	(3) 他の資金からの繰入状況等	⑲	特別の積立金から生産者積立金へ繰入れた金額	—	—	—	—	—	
		⑳	調整積立金から生産者積立金へ繰入れた金額	—	—	—	—	—	
		㉑	生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	—	—	—	—	—	
		㉒	生産者積立金に係る運用果実	—	—	—	—	—	
㉓		他資金から生産者積立金への繰入額	—	—	—	—	—		
㉔		生産者補給金交付額(㉑を含む)	0	0	0	0	0		
㉕		生産者積立金からの借入金返済額	—	—	—	—	—		
㉖		他の資金からの繰入による借入金返済額	—	—	—	—	—		
㉗		生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0		
㉘		生産者積立準備金に係る運用果実	—	—	—	—	—		
㉙		生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額	—	—	—	—	—		
㉚		生産者積立準備金からの返還額(生産者分)	—	—	—	—	8,610,719		
㉛		生産者積立準備金からの返還額(都道府県分)	—	—	—	—	0		
㉜	生産者積立準備金からの返還額(機 構 分)	—	—	—	—	16,002,100			
(4) 期末残高	⑳	生産者積立金 (①+⑧+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓-㉔-㉕-㉖-㉗)	2,175,600	0	0	5,140,000	7,315,600		
	㉘	生産者積立準備金 (②-⑦+㉗+㉘-㉙-㉚-㉛-㉜)	—	—	—	—	93,152,941		
	内 訳	㉝	生産者の負担金充当分	—	—	—	—	6,757,733	
		㉞	都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	86,395,208	
		㉟	機構の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	0	

## i) 特別の積立金造成状況

(単位：円)

品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	計
期首残高		—	2,032,455	14,582,995	29,534,762	46,150,212
増加	積立金	—	—	—	—	—
	運用益	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—
減少	積立金へ繰入	—	—	—	—	—
	償還円滑化積立金へ繰入	—	—	—	—	—
	普通財産へ繰入	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—
期末残高		—	2,032,455	14,582,995	29,534,762	46,150,212

## j) 償還円滑化積立金の造成状況

(単位：円)

品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計
期首償還円滑化積立金の残高		2,570,136	1,086,537	426,352	200,295	4,283,320
償還円滑化積立金造成実績	機 構	—	—	—	—	—
	三 重 県	—	—	—	—	—
	生 産 者 (生産者積立準備金より繰入)	—	—	—	—	—
	合 計	—	—	—	—	—
運用益		218	92	36	17	363
生産者積立金へ繰入		0	0	0	0	0
期末償還円滑化積立金の残高		2,570,354	1,086,629	426,388	200,312	4,283,683

k) 生産者補給金交付状況  
(交付金部分+積立金部分)

(単位：円、頭、人)

期間区分			品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計	
令和元年度	第4四半期	令和2年 1月1日 ～ 3月31日	①交付対象 頭数	販売	188	0	0	353	541	
				保留	181	0	0	52	233	
				合計	369	0	0	405	774	
			②生産者補 給金単価	補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
	③生産者補 給金交付額 (①×②)	補給交付金	0	0	0	0	0			
		積立金	0	0	0	0	0			
		小計	0	0	0	0	0			
	交付対象生産者数				0	0	0	0	0	
	令和2年度	第1四半期	令和2年 4月1日 ～ 6月30日	①交付対象 頭数	販売	117	0	0	364	481
					保留	191	0	0	48	239
合計					308	0	0	412	720	
②生産者補 給金単価				補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
③生産者補 給金交付額 (①×②)		補給交付金	0	0	0	0	0			
		積立金	0	0	0	0	0			
		小計	0	0	0	0	0			
交付対象生産者数				0	0	0	0	0		
第2四半期		令和2年 7月1日 ～ 9月30日	①交付対象 頭数	販売	197	0	0	372	569	
				保留	185	0	0	53	238	
				合計	382	0	0	425	807	
			②生産者補 給金単価	補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
③生産者補 給金交付額 (①×②)		補給交付金	0	0	0	0	0			
		積立金	0	0	0	0	0			
	小計	0	0	0	0	0				
交付対象生産者数				0	0	0	0	0		
第3四半期	令和2年 10月1日 ～ 12月31日	①交付対象 頭数	販売	135	0	0	362	497		
			保留	138	0	0	60	198		
			合計	273	0	0	422	695		
		②生産者補 給金単価	補給交付金	0	0	0	0			
			積立金	0	0	0	0			
			小計	0	0	0	0			
③生産者補 給金交付額 (①×②)	補給交付金	0	0	0	0	0				
	積立金	0	0	0	0	0				
	小計	0	0	0	0	0				
交付対象生産者数				0	0	0	0	0		
合計			①交付対象 頭数	販売	637	0	0	1,451	2,088	
				保留	695	0	0	213	908	
				合計	1,332	0	0	1,664	2,996	
			②生産者補 給金単価	補給交付金	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0		
			③生産者補 給金交付額	補給交付金	0	0	0	0	0	
				積立金	0	0	0	0	0	
				小計	0	0	0	0	0	
			交付対象生産者数				0	0	0	0

## ② 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

### a) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

#### (a) 制度運営適正化推進

補給金制度に係る業務を適正に実施するため、肉用子牛の個体識別及び個体登録、販売・保留の確認、制度推進の啓蒙・指導等円滑な業務推進と新統一電算システムによる機構への業務執行状況の報告を実施しました。

#### (b) 指定協会調査指導

補給金制度の適正な実施体制の確保を図るため、事務委託先及び契約生産者に対する補給金交付契約の内容、手続等、事務の実施状況について定期的な点検、調査、指導を実施しました。

### b) 指定協会運営体制支援事業

補給金制度の円滑な実施を図るため、指定協会の運営体制を強化するための財政支援を受け、運営基盤の強化を図りました。

## ③ 肉用牛経営安定対策補完事業

肉用牛生産基盤の強化と経営安定を図るため、地域の中核的担い手が計画的に高能力の繁殖雌牛を増頭した場合に奨励金を交付することにより、自家生産肥育素牛による収益性の向上を目指すと共に肥育経営から一貫経営への移行を牽引して新たな繁殖牛の導入や規模拡大を行う経営に対する支援を実施しました。

## ④ 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業

肉用子牛の飼養頭数を維持するため、畜舎の環境改善や疾病の防止等を通して経営改善に取り組む肉用子牛生産者に対し、奨励金を交付するための業務を実施しました。

## (2) 三重県補助事業

### みえのブランド牛経営等緊急支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により牛枝肉販売価格が低迷し、現行の支援制度である牛マルキン制度だけでは肉用牛経営の持続性が保てない状況に陥っていることから、みえのブランド牛経営体に対して緊急的に支援金の交付を行い、肉用牛経営の生産基盤の弱体化を抑え、将来の需要等に対応できるよう新型コロナウイルス感染症終息後のみえのブランド牛等の生産頭数の維持拡大を図る業務を実施しました。

## 2) 受託事業

### (1) 独立行政法人農畜産業振興機構受託事業

#### ① 肉豚経営安定交付金制度

養豚経営の安定を図るため、畜産経営の安定に関する法律に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合にその差額の9割を交付する事業の新規加入者の募集及び事業内容周知のため、県内養豚事業者、養豚関係者等を対象に説明会を開催しました。また、事業に関する問合せに対応し円滑な事業の推進を行いました。

県内事業参加養豚事業者31戸の内、12養豚事業者の委託事務を実施しました。

② 肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛肥育経営は、もと畜の導入から肥育牛の出荷まで一定期間を要し、かつ、生産費に占めるもと畜の割合が大きいことから、もと畜価格と枝肉価格によっては大幅な収益性の悪化が懸念されるため、行政庁、(独)農畜産業振興機構及び関係団体との緊密な連携のもとに、本業務を効率的かつ効果的に運営することで円滑な補填金の交付業務を行いました。

また、地域の実情を反映したブロック算定に関する周知及びコロナ禍にあつて積立金の納付猶予等生産者負担の軽減に努めました。

a) 契約生産者の状況 (単位：戸)

契約区分	対象者数	令和2年度
個人		83
農事組合法人		6
株式会社		23
有限会社		11
合同会社		0
合計		123

b) 品種別個体登録頭数 (単位：頭)

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
R2.4月～R3.3月	11,992	643	86	12,721

c) 品種別生産者負担金単価 (単位：頭)

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種
積立金単価	30,000	20,000	19,000

d) 地域基金造成額及び補填金交付額 (単位：円、頭)

品種区分	肥育安定基金造成額					肥育牛補填金
	生産者負担金			機構補助金額	合計額	交付時期 R2.4月～R3.3月
	単価	対象頭数	前年繰越額 本年度造成額			
肉専用種	30,000	繰越分	128,424,000	643,429,066	771,853,066	759,618,916
			12,487			
交雑種	20,000	繰越分	16,857,385	49,223,073	66,080,458	58,325,272
			661			
乳用種	19,000	繰越分	1,708,399	2,646,294	4,354,693	3,228,213
			84			
合計	-	繰越分	146,989,784	656,449,519	842,288,217	821,172,401
			18,588			

(2) 公益社団法人中央畜産会受託事業

① 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（肥育生産支援）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、インバウンド需要を含む外食需要が減少し、和牛を中心に牛枝肉価格が下落し肉用牛肥育経営の経営悪化が危惧された。このため、所得や営業利益を令和2年度と比較して3%改善することを目的として、経営体質強化を図る肥育経営体に対して奨励金を交付しました。

(3) 一般社団法人全国肉用牛振興基金協会受託事業

① 生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、畜産クラスター計画に基づき、畜産クラスター協議会の構成員が優良な繁殖雌牛を増頭し、輸出に適した和牛肉の増産を図るための繁殖雌牛の増頭を支援しました。

(4) その他

- ① 事業推進に必要な調査を実施した。
- ② 関係団体、関係事業との協力を努めた。

3) 令和2年度の主な行事

(令和3年3月末現在)

年	月	日	行 事 内 容
2	7	8	肥育生産支援事業オンライン会議 (Web)
		15	肥育生産支援及び優良肉用子牛生産推進事業推進会議 津市
3	3	2	肉用子牛生産者補給金制度等に係る経理研修会 (Web)
		10	肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る全国会議 (Web)
		26	肥育牛経営改善等緊急対策事業全国推進会議 (Web)